



防滑性ビニル床シート

NONSKID

2022-2024

技術資料

sangetsu

NONSKID

2022-2024

技術資料

マークの説明



JIS A 1454滑り性試験にて、乾燥状態・水+ダストのそれぞれの条件で優れた防滑性が確認された床材です。



開放廊下やバルコニーなど屋外で使用可能な床材です。



抗菌試験JIS Z 2801の結果に基づき、抗菌活性値2.0以上をクリアした商品です。



床材ノンスキッドと階段用ノンスキッド・ステップで同柄同色もしくは類似色があります。



フラットなのにすべりにくい。車椅子やベビーカーの移動もスムーズです。



JIS A 1454耐汚染性試験にて、試験片に有効塩素濃度6%次亜塩素酸ナトリウムを滴下し、24時間放置した結果、表面に変化がみられなかった商品です。



日本産業規格「JIS A 5705ビニル床材」に定められた性能を満たしています。



汚れが取りやすい。すべりにくさと汚れの取りやすさを両立しました。



液体肥料や殺虫剤などに含まれる成分の影響を受けにくい商品です。



再生ビニル樹脂系材料の合計重量が、製品の総重量比で15%以上使用されたグリーン購入法適合商品です。

sangetsu | SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

サンゲツは、持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



11.住み続けられるまちづくりを

豊富なデザイン、機能性のインテリアを開発・販売することで、多様な人々が住み続けられるまちづくりに貢献いたします。



12.つくる責任つかう責任

サンゲツでは使用済み見本帳を素材ごとに分別し、リサイクルを行うことで、持続可能な循環型社会の実現に寄与します。

INDEX

試験データ

商品性能一覧表	1
耐候性・衝撃吸収性	2
防滑性	3
清掃性・VOC対策	4
耐薬品性	5
遮音性・視認性	6

施工説明

ノンスキッド施工前の共通手順	7
ノンスキッド	8
ノンスキッド・ステップ	9
ノンスキッド・エアコン排水目地	11
シキレール	12
施工納まり図	13

ノンスキッド、ノンスキッド・ステップ、 副資材組み合わせ一覧表	15
------------------------------------	----

メンテナンスガイド	17
-----------	----

接着剤・副資材	19
---------	----

取扱上のご注意	20
---------	----

商品性能一覧表

試験方法			JIS A 1454						JIS A 1453			
試験項目 品番			加熱による 長さ及び幅 変化率	へこみ量		残留 へこみ量	滑り性		耐摩耗性			
							硬底紳士靴		質量変化		摩耗深さ	
							C.S.R 値					
				23℃	45℃		乾燥	水+ダスト	500回転	1000回転	500回転	1000回転
単 位			%	mm	mm	mm	—	—	mg/mm ²	mg/mm ²	mm	mm
性能規格値 (JIS A 5705 に準拠)			-2.0 以上 +2.0 以下	0.3 以上	1.5 以下	0.75 以下	—	—	—	—	—	—
ノンスキッド	PX-210～212	FS	縦-0.05 横-0.03	0.75	0.95	0.39	0.76	0.55	0.13	0.27	0.17	0.26
	PX-220・221	FS	縦-0.04 横-0.03	0.81	0.94	0.43	0.92	0.61	0.11	0.23	0.12	0.21
	PX-201～203	FS	縦-0.04 横-0.03	0.60	0.82	0.29	0.93	0.61	0.21	0.42	0.22	0.35
	PX-230・231	FS	縦-0.05 横-0.04	0.64	0.84	0.34	0.92	0.61	0.11	0.24	0.14	0.22
	PX-590・591	FS	縦-0.04 横-0.03	0.84	0.95	0.53	0.72	0.54	0.11	0.23	0.15	0.24
	PX-570～572	FS	縦-0.04 横-0.03	0.81	1.03	0.53	0.88	0.58	0.19	0.40	0.27	0.43
	PX-530～532	FS	縦-0.05 横-0.04	0.92	1.15	0.64	0.77	0.58	0.20	0.43	0.25	0.42
	PX-550	FS	縦-0.05 横-0.04	0.84	1.09	0.56	0.80	0.57	0.19	0.42	0.37	0.62
	PX-610～613	FS	縦-0.08 横 0.05	0.84	1.16	0.18	0.86	0.65	0.05	0.08	0.04	0.06
	PX-801～804 PX-881～883	FS	縦-0.07 横 0.05	0.77	1.09	0.16	0.77	0.54	0.05	0.08	0.04	0.07
	PX-810～871	FS	縦-0.07 横 0.05	0.77	1.09	0.16	0.85	0.61	0.05	0.08	0.04	0.07
	PX-751～753	FS	縦-0.03 横 0.02	0.87	1.04	0.63	0.72	0.51	0.16	0.37	0.21	0.39
	PX-951～953	FS	縦-0.04 横-0.04	0.83	1.04	0.59	0.79	0.64	0.16	0.33	0.35	0.49
	PM-981～983	FS	縦-0.09 横-0.02	0.82	0.96	0.15	0.79	0.53	0.04	0.08	0.13	0.19
ノンスキッド・ ステップ	PX-5701～5724	—	縦-0.04 横-0.03	0.81	1.03	0.53	0.88	0.58	0.19	0.40	0.27	0.43
	PX-8601～8694	—	縦-0.07 横 0.05	0.77	1.09	0.13	0.85	0.61	0.05	0.08	0.04	0.07
	PX-8901～8934	—	縦-0.05 横-0.06	0.87	1.16	0.24	0.79	0.63	0.05	0.10	0.05	0.10

※当社基準による評価です。上記の値は測定値であり保証値ではありません。

■ 加熱による長さ及び幅変化率（寸法安定性）

【試験方法】・・・ JIS A 1454に準拠

300mm×300mmのサンプルを、80℃の攪拌機付き恒温器中に6時間保持し、取り出してから室内に1時間静置後、試験前の長さ（寸法）に対する変化率を測定します。

■ へこみ試験

【試験方法】・・・ マックバーニーへこみ試験器によるJIS A 1454に準拠

10cm×10cmの試験片を温度23℃に調整された恒温水槽中に15分間浸しておき、同恒温水槽中で同じ温度に保たれた試験機を乗せます。試験機の6.35mmの先端が半球状の鋼棒により13.6kgの荷重を加えます。荷重を加えてから1分後のへこみ量（mm）を計測します。

参考：45℃に調整された恒温水槽中での試験も行っています。この場合荷重を加えてから30秒後のへこみ量（mm）を計測します。

■ 残留へこみ量

【試験方法】・・・ JIS A 1454に準拠

5cm×5cmの試験片を使用して、直径4.5mmで先端が平らな鋼棒で36.0kgの荷重を10分間加え、荷重を取り去ってから1時間後のへこみ量を測定します。

■ 耐摩耗性

【試験方法】・・・ JIS A 1453に準拠

回転する水平円盤に試験片を取り付け、これに研磨紙を取り付けた摩耗輪を試験荷重とともに加えて、研磨紙によって生ずる試験片の摩耗の程度を評価するもので、試験体に対して指定回転数で重量の減少と厚みの減少を測定します。

耐候性

マンションの開放廊下やルーフバルコニーなどに使用される床材は、直射日光に含まれる紫外線や熱・雨水など自然環境の影響による変質や変色などの、劣化に耐える性能が求められます。なかでも紫外線は合成樹脂材料を劣化させやすいため、紫外線などへの耐性が床材の耐候性の大きな目安となります。

【試験方法】…… JIS A 1415 高分子系建築材料の 実験室光源による暴露試験方法 「キセノンアークランプによる暴露試験方法」

キセノンアークランプによる暴露試験の後、外観変化の程度を変退色用グレースケールにて判定します (JIS L 0804に準拠)。

－ 試験条件 －

ブラックパネル温度 : $63 \pm 3^{\circ}\text{C}$
放射照度 : $0.51 \pm 0.02\text{W}/(\text{m}^2 \cdot \text{nm}) [340\text{nm}]$
水噴霧サイクル : 120分中18分間

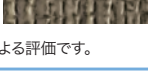
【試験方法】…… EMMAQUA法による屋外集光式 促進暴露試験

米国アリゾナ州フェニックスで実際の太陽光を集光利用し、実際の暴露条件と同じ昼夜のサイクルを再現したEMMAQUA試験機にて実施後、外観変化を観察します。

－ 試験条件 －

積算放射エネルギー量 : 約 $32,000\text{MJ}/\text{m}^2$ (年間)
※銚子市: 約 $4,659\text{MJ}/\text{m}^2$ (年間)放射量
水噴霧サイクル : 昼間 120分ごとに8分噴霧
夜間 8分間噴霧を3回

【試験結果】

光源照射時間	PX-530	PX-802
試験前 0時間		
1000 時間		
2000 時間		
3000 時間		
4000 時間		

※上記データは当社基準による評価です。

【試験結果】

屋外暴露期間	PX-530	PX-803
試験前		
4カ月		
8カ月		

※上記データは当社基準による評価です。

◇実際の施工状況(建物の周辺環境)では、紫外線の他、寒暖の温度変化や雨水などの要因が重なりあって床材を劣化促進させることもあれば、その影響を受けにくい場所に施工される場合もあります。そのため、個別の性能試験だけでは十分な耐候性能を把握することができません。この耐候性試験結果はあくまでも試験値であり製品寿命を示すものではありません。

衝撃吸収性(G値)

万一の時の安全性を考え、衝撃吸収性能が求められます。

人が転倒した場合、衝撃をどれだけ床材で吸収できるかの測定をしました。

床材の衝撃吸収性は転倒衝突時の衝撃加速度「G値」で評価され、この値が小さいほど安全性は高くなります。

◇一般的にG値が低い床材ほど厚みがあり、柔らかくなる傾向があります。場所によっては移動性などの、他の性能との兼ね合いも考慮して床材を選択する必要があります。

【試験方法】… JIS A 6519 体育館用鋼製床下地構成材 「床の硬さ試験」

転倒衝突時の床の硬さ試験方法 (JIS A 6519) は人間の頭部をモデルとして開発された質量 3.85kg の装置です。

これをゴム板が置かれた試料(床材)の測定点に、高さ 20cm から自由落下させ、床に衝突した時の加速度の最大値を内蔵の加速度計で測定し、転倒衝突時の衝撃加速度「G値」を求めます。

【試験結果】

試験体	G値(m/s^2)
コンクリート	170(1,666)
ノンスキッド	133(1,303)
ノンスキッド・ステップ	133(1,303)
ノンスキッド+アンダーレイ 3.0mm	101(990)

※当社基準による評価です。上記の値は測定値であり保証値ではありません。

※G値の()内の数値は2018年に改正されたJIS A 6519に基づき、硬さ(Gs)の単位を $9.8\text{m}/\text{s}^2$ に換算した値です。

取扱上のご注意は必ず巻末をご確認ください。

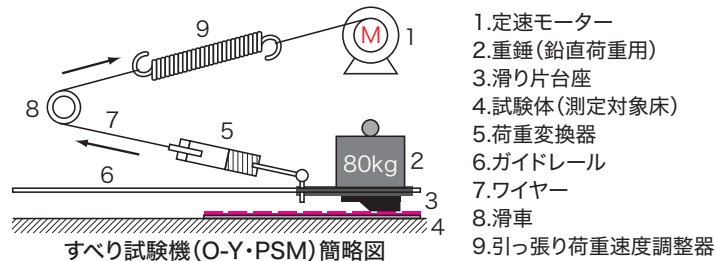
防滑性(C.S.R値)

歩行の安全性を考えたとき、滑りにくさと適度な滑りやすさがバランス良く備わっていることが重要です。

優れた防滑性を持つ床材の条件は、『水や土砂などが付いた時にも滑りにくいこと』『乾燥し清掃された状態と水や土砂が付着した状態での滑りにくさの差が小さいこと』だといえます。

【試験方法】…… JIS A 1454 高分子系張り床材試験方法「滑り性試験」

東京工業大学の小野研究所が開発したすべり試験機によるOY-PULL法にて試験を行っています。実際の歩行に最も即している試験方法と言われ、滑り片に実際に使用する履物の底を貼り付け、80kgfの荷重をのせ、18°の角度で引っ張った時に得られる最大引張り荷重を測定し、その値を載荷重量(80kg)で除した値(C.S.R値)を滑り抵抗の評価指数としました。



【試験結果】床材のすべり最適値及び許容範囲(下足床)

想定履物	すべり 測定結果	品番		すべる ◀ C.S.R ▶ すべらない
紳士靴 (合成ゴム底)	○最適値 ◀許容範囲▶	動作	歩行	
			駆け出し	
			急停止	
			方向転換	
	◆乾燥状態 ◆水+ダスト	ノンスキッド	PX-210～212	0.55 ◆ 0.76 ◆
			PX-220・221	0.61 ◆ 0.92 ◆
			PX-201～203	0.61 ◆ 0.93 ◆
			PX-230・231	0.61 ◆ 0.92 ◆
			PX-590・591	0.54 ◆ 0.72 ◆
			PX-570～572	0.58 ◆ 0.88 ◆
			PX-530～532	0.58 ◆ 0.77 ◆
			PX-550	0.57 ◆ 0.80 ◆
			PX-610～613	0.65 ◆ 0.86 ◆
			PX-881～883	0.54 ◆ 0.77 ◆
			PX-801～804	0.54 ◆ 0.77 ◆
			PX-820～822	0.61 ◆ 0.85 ◆
			PX-870・871	0.61 ◆ 0.85 ◆
			PX-810～813	0.61 ◆ 0.85 ◆
			PX-815・816	0.61 ◆ 0.85 ◆
			PX-840～842	0.61 ◆ 0.85 ◆
			PX-751～753	0.51 ◆ 0.72 ◆
			PX-951～953	0.64 ◆ 0.79 ◆
			PM-981～983	0.53 ◆ 0.79 ◆
		ノンスキッド・ ステップ	PX-5701～5724	0.58 ◆ 0.88 ◆
			PX-8601～8694	0.61 ◆ 0.85 ◆
			PX-8901～8934	0.63 ◆ 0.79 ◆
		一般的 シム	エスリューム・ウッドⅡ	0.50 ◆ 0.81 ◆

防滑性の判断ポイント ①『水+ダスト』状態での数値が高いこと ②『水+ダスト』と『乾燥』状態での数値差が小さいこと

※当社基準による評価です。上記の値は測定値であり保証値ではありません。

清掃性(お掃除かんたんノンスキッド)

日常清掃では汚れの取りやすさが求められます。
防滑性シートは、防滑性を有する反面、そのエンボス形状から汚れが除去し難いといった声もあります。「お掃除かんたんノンスキッド」は
防滑性と清掃性を両立した商品で、車椅子やベビーカーの移動もスムーズで汚れの取りやすさも実現しました。

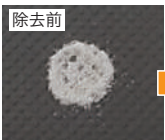
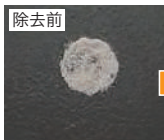
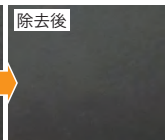
【試験方法】・・・清掃簡易性判断試験

キャスター試験機に掃除用具と試験体を取り付け、汚れ物質(カラーサンド/粒径300 μ m)を
1g散布し、縦方向2往復、横方向2往復で試験し、除去率を算出しました。

$$\text{除去率(\%)} = \frac{\text{除去された汚れ物質の量(g)}}{\text{散布した汚れ物質の量(g)}} \times 100$$

【試験結果】

仕 様	品 番	除去率 (%)
お掃除かんたん ノンスキッド	PX-210～212	94.8%
	PX-220・221	92.1%
	PX-201～203	92.0%
	PX-230・231	92.1%
	PX-590・591	90.7%
	PX-570～572	90.9%
	PX-801～804、PX-881～883	91.9%
	PX-810～871	94.3%
	PM-981～983	94.3%
通常ノンスキッド	PX-610～613	85.9%

	通常ノンスキッド PX-610～613		お掃除かんたんノンスキッド PX-801～804、PX-881～883		お掃除かんたんノンスキッド PX-810～842、PX-870・871	
汚れ除去 試験結果	除去前	除去後	除去前	除去後	除去前	除去後
						
除 去 率	85.9%		91.9%		94.3%	

※当社基準による評価です。上記の値は測定値であり保証値ではありません。

【考察】 通常ノンスキッドと比較してお掃除かんたんノンスキッドは汚れ物質を除去しやすいといえます。

VOC対策

住宅における揮発性有機化合物汚染はシックハウスとして社会問題にまでなりました。建材として床材を使用する上でも、そのような環境安全性を考慮し
なくてはなりません。ここでは、厚生労働省の指針値から換算した日本インテリア協会(NIF)の自主基準値との比較で、床材から発生するVOC(揮発性有
機化合物)の測定をしました。

※厚生労働省が制定している指針値は気中濃度です。それを基に日本インテリア協会(NIF)ではデンマーク法換算式により放散速度を換算しました。

【試験結果】

測定化合物質	厚生労働省指針値	NIF自主基準値 (7日後) ($\mu\text{g}/\text{m}^2\cdot\text{h}$)	ノンスキッド 放散速度(7日後) ($\mu\text{g}/\text{m}^2\cdot\text{h}$)
	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)		($\mu\text{g}/\text{m}^2\cdot\text{h}$)
ホルムアルデヒド	100	5	1未満
トルエン	260	51	3.8
キシレン	200	39	31
p-ジクロロベンゼン	240	47	1未満
エチルベンゼン	3,800	748	6.9
スチレン	220	43	1未満

◇小型チャンバー法による揮発性有機化合物測定結果(JIS A 1901)から、ホルムアルデヒド及びその他のVOC(揮発性有機化合物)の放散速度が規
定値以下であることが確認できます。

※当社基準による評価です。上記の値は測定値であり保証値ではありません。

取扱上のご注意は必ず巻末をご確認ください。

遮音性

近年、マンションやアパートなどの集合住宅で階上の床から発生する音が問題となり、遮音等級の高い床材で床を施工する建物が増えています。生活に快適な環境を確保するため、こうした衝撃音の緩和は必要不可欠になっています。

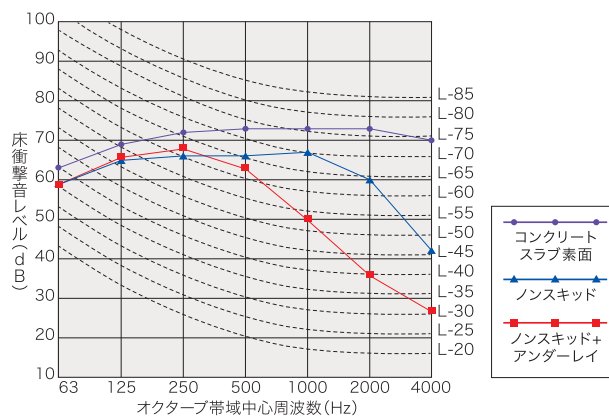
【試験方法】…… JIS A 1440-1 実験室におけるコンクリート床上の床仕上げ構造の床衝撃音レベル低減量の測定方法 第1部：標準軽量衝撃源による方法

試験体を階上の音源室の所定の位置に設置し、軽量床衝撃音発生器(タッピングマシン)で床を加振したときに階下の床下で計測される床衝撃音のレベルを測定しました。

【試験結果】

試験体	床衝撃音遮断性(グラフ表示)= 軽量衝撃音JIS A 1440-1 単位(dB)							L-レベル
	63 Hz	125 Hz	250 Hz	500 Hz	1000 Hz	2000 Hz	4000 Hz	
ノンスキッド	59	65	66	66	67	60	42	L-70
ノンスキッド・ステップ	59	65	66	66	67	60	42	L-70
ノンスキッド+アンダーレイ3.0mm	59	66	68	63	50	36	27	L-65
コンクリートスラブ(150mm厚)	63	69	72	73	73	73	70	—
エポキシ系塗床	58	68	71	71	70	68	56	—

※当社基準による評価です。上記の値は測定値であり保証値ではありません。



【考察】 軽量衝撃音について、標準スラブの数値に対し、ノンスキッド施工後は高音域での改善効果が見られます。

【参考】 ◇軽量衝撃音：スプーンを落とした音や、イスを引くときの音など、硬くて軽量な物が落下した際に発生する衝撃音。
◇重量衝撃音：人の飛び跳ねなど、重くて柔らかい物が落下した際に発生する衝撃音。
(通常、重量衝撃音の遮断性能の向上には床構造体による対策が基本であり、建物竣工後の対策は難しいといわれます。)

視認性(ノンスキッド、ノンスキッド・ステップ)

ユニバーサルデザインの一環で、視認性を高める為に、段差やスロープの様にレベルの差が出る場所に対して貼分けをする仕様が増えていきます。そのような視認性を比較する指標としてノンスキッド、ノンスキッド・ステップ(段鼻部分と踏み面部分)の輝度を測定しました。

【試験方法】(ノンスキッド)

輝度計を用いて試験体(ノンスキッド)の輝度を測定します。

測定機器：輝度計
試験室の光源：蛍光ランプ
サンプルまでの距離：約1.4m
受光角：15°(角度75°)

【試験方法】(ノンスキッド・ステップ)

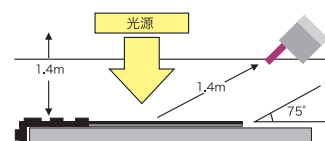
輝度計を用いて試験体(ノンスキッド・ステップ)の踏み面部分と段鼻部の輝度を測定します。

測定機器：輝度計
試験室の光源：蛍光ランプ
サンプルまでの距離：約1.4m
受光角：15°(角度75°)

【試験結果】

品番	輝度	品番	輝度	品番	輝度	品番	輝度
PX-210	98.7	PX-571	39.2	PX-801	111.1	PX-815	68.5
PX-211	68.4	PX-572	21.2	PX-802	80.4	PX-816	66.7
PX-212	55.4	PX-530	52.9	PX-803	72.4	PX-840	61.2
PX-220	80.6	PX-531	39.7	PX-804	39.1	PX-841	36.4
PX-221	29.9	PX-532	34.5	PX-820	161.3	PX-842	29.4
PX-201	40.4	PX-550	35.8	PX-821	91.9	PX-751	15.7
PX-202	38.7	PX-610	135.4	PX-822	45.1	PX-752	30.3
PX-203	24.1	PX-611	90.2	PX-870	63.3	PX-753	30.9
PX-230	126.6	PX-612	72.8	PX-871	41.6	PX-951	58.9
PX-231	41.7	PX-613	52.5	PX-810	61.0	PX-952	34.4
PX-590	29.8	PX-881	111.1	PX-811	31.0	PX-953	24.4
PX-591	28.5	PX-882	80.4	PX-812	58.0		
PX-570	49.8	PX-883	72.4	PX-813	36.4		

【試験結果】



品番	段鼻部	踏み面	輝度比
PX-5701~5704	21.2	49.8	2.34
PX-5711~5714	14.8	39.2	2.64
PX-5721~5724	14.8	21.2	1.43
PX-8601~8604	24.6	58.0	2.60
PX-8671~8674	24.6	36.4	1.48
PX-8691~8694	30.2	61.0	2.01
PX-8681~8684	30.2	31.0	1.03
PX-8901~8904	30.2	135.4	4.48
PX-8911~8914	30.2	90.2	2.99
PX-8921~8924	24.6	72.8	2.96
PX-8931~8934	24.6	52.5	2.13

※当社基準による評価です。上記の値は測定値であり保証値ではありません。

【考察】 貼り分けをして視認性を高める際は、それぞれの商品の輝度比に配慮する必要があります。

ノンスキッド施工前の共通手順の説明

基本手順



1. 施工環境・下地の確認

《環境の確認》

施工場所の温度や湿度が施工時及び施工後に大きく影響します。特に冬場の施工に関しては作業環境温度の管理が重要となります。
温度10～25℃、湿度75%以下が望ましく、施工前後は接着剤の種類に応じた養生時間を取るようになしてください。また、接着剤の保管温度も5℃以下にならないようになしてください(変質・分離する場合もあり、0℃以下では凍結して使用不可になる場合もあります)。

《下地の確認》

●平滑性

下地に不陸や亀裂、段差、隙間などがないか、床全体が平滑であるかを調べてください。平滑性に欠け凹凸のある床は、接着剤を均一に塗布できません。凹部に接着剤だまりをつくり、ジョイントから接着剤はみ出す原因になったり、溶剤によるガスで膨れの原因になったりします。凸部は接着剤の塗布量が少なくなることによって接着力が低下したり、施工後の部分的な摩耗の原因になり、耐久性に支障をきたすことになります。階段の蹴上げ部も不陸を必ずチェックして基準値内におさめるようになしてください。

●汚れ

下地の汚れは、接着剤の接着力を落とすばかりでなく、床材の変色を招く場合があります。そのためゴミや埃、モルタルかすが残っていないか、油や錆がついていないかなどを調べてください。特に塗料や防蟻剤、防腐剤、オイルステン配管用接着剤などの油を含む汚れは、施工後に床材の変色・変質を起こす恐れがあるので注意してください。

●湿気

下地の乾燥不足は、どんな接着剤でも施工不可能です。水分計やポリエチレンフィルム、バーナーなどを使い下地の乾燥状態を判断してください。下地の乾燥とともに立地条件、下地自体の構造、素材についても注意してください。

●強度

下地の粉吹き・ざらめ・浮きなどがなく十分な強度が必要です。

●取り合い

床下地の壁面に対しての取り合いを確認してください。確認項目は以下のとおりです。

- ・床面と壁面の取り合い部に四方でレベルの狂いがないか。
- ・扉開口部の床面のレベルが、床材の厚み分上がっても問題ないか。

2. 清掃

床にコンクリートかすのゴミ、埃などが残っていると接着剤の塗布に支障をきたすばかりでなく、接着剤の接着力不足の原因になったり、施工後の仕上がりに影響します。大きなゴミから取り除いた後、埃やチリなどを掃き取ってください。床面積が広い場合、一度に清掃すると場所によって十分にきれいにならなかったり、施工中に再び汚れたりするので、当面施工に必要な部分から清掃してください。清掃後は工事関係者の出入りを禁止し、ゴミや埃を持ち込まないようにしてください。

3. 下地調整

下地の状況に応じて補修、表面補強を適切に行ってください。またその際に使った補修材、補強材によって下地自体の性能が変わることもあるため注意が必要です。

4. 使用商品の確認

施工前に必ず、商品番号、ロット番号、サイズ、数量を確認してください。色ムラを防ぐために、できる限り取り合いのある箇所は同ロットの商品で流れ方向を合わせて施工してください。

下地の乾燥状態の判断方法

■水分計を使用する方法

水分計の接地面が平らでゴミやチリがなく、通風のない場所を選んで下地水分の測定を行ってください。

■ポリエチレンフィルムを利用する方法

約1m角のポリエチレンフィルム(ゴミ袋など)を下地に広げ、空気が逃げないように四方をガムテープで貼り、24時間放置する。その後、フィルム内側に付いた水滴や下地の変色状態を観察し判断してください。

■バーナーを利用する方法

バーナー(トーチランプ)を用い下地表面をあぶり、水滴の有無や変色状態を観察し判断してください。

水分計*			水分計以外での確認方法		施工方法の 目安
グレード	選択 D.MODE	従来の水分指標	ポリエチレンフィルム	バーナー	
I	440未満	8%以下	24時間後変化なし	下地表面に 変化なし	一般工法
IIa	440以上 620未満	8～10%	24時間後黒ずみ (輪郭不明瞭)	下地表面が 黒ずむ	耐湿工法推奨
IIb	620以上	10%以上	24時間後に変色結露が 見られる	下地表面に 水滴が溜く	施工不可

*使用水分計：株式会社ケット科学研究所
高周波静電容量式水分計「HI-520-2」D.MODE選択による

■株式会社ケット科学研究所製「コンクリート、モルタル水分計 HI-520-2」による水分測定方法(表面から40mm程度まで)

●測定手順

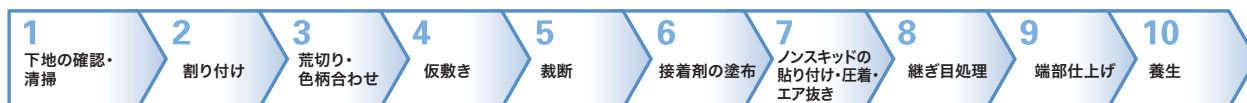
- ①測定対象床下地から、測定対象箇所を適宜選定する。
- ②水分計の各ダイヤルを以下の通りセットする。
D.MODE(厚さ:40mm程度、温度:AUTO設定)
- ③水分計を測定対象箇所の床下地表面に置き、表示値を読み取る。
測定は水分計を置く位置を適宜ずらしながら数回行い、平均的な表示値を求めることとする。

●測定結果の評価:測定表示値を左記表グレードで判断し施工方法の判定を行う。

測定対象・範囲	HI-520-2	
	コンクリート	0～12%
	モルタル	0～15%
	ALC	0～100%
	人工軽量骨材コンクリート	0～23%
	石膏ボード	0～50%
	ケイ酸カルシウム板	0～15%
	D.MODE	0～1999
	S.MODE	0～1100
測定方式	高周波容量式(20MHz)	消費電力 350mW
表示方法	デジタル(LCD、表示最小桁0.1%)	寸法・質量 72(W)×146(D)×118(H)mm、0.39kg
電 源	電池 9V(006P アルカリ)×1	付 属 品 ソフトケース、電池、取扱説明書

ノンスキッド施工説明

基本手順



1. 下地の確認・清掃

砂やチリ、埃などを除去し、適切な下地処理を行い、下地が十分に平滑で乾燥していることを確認してください。
※平鋼板下地は、エポキシ系防錆塗料で十分な防錆処理をしてください。
※詳細は「施工前の共通手順」(P.7)を参照してください。

2. 割り付け

ジョイントが多いと仕上がりが美しくないため、出来る限りジョイントを少なく割り付けてください。長手方向にジョイントを合わせてください。また小さなサイズは、美観を損ねるだけでなく、接着不良による浮き剥がれの原因になるため出来る限り発生しないように割り付けてください。出入口は踏み込みが多く、ジョイントから痛みや剥がれが起きやすいため、出来る限りジョイントをしないようにしてください。



3. 荒切り・色柄合わせ

施工場所の形などに合わせて割り付けし、それに基づいて実寸法より5cmほど長めに荒切りしてください。
柄物は、1柄分余分に長く裁断し柄合わせをしてください。丈継ぎの必要がある場合は、さらに1柄分長く裁断し、丈継ぎのジョイントと合うように柄を合わせてください。

4. 仮敷き

現場の環境になじませ、運搬時の巻き癖、伸縮などを取り除くために荒切りして仮敷きしてください。特に低温時や寒冷地の場合、シートが硬くなっているため十分な仮敷き時間をとってください。

5. 裁断

《巾定規による壁際の裁断》

巾定規は、壁面に対して床材の端が、ピッタリと沿うように裁断する道具です。巾定規の先端にカッターナイフをあて、壁方向に沿わせるように力を加えながら手前方向にカットしてください。



《ジョイントの裁断》

ジョイント部は隙間なくピッタリと納まることが大切となるため、落とし込みまたはリノカッターなどを用いて、けがいてからカットしてください。

6. 接着剤の塗布

ウレタン樹脂系溶剤形接着剤WPX (BB-479・480)・WG (BB-601～603)を使用します。塗布する際は、専用クシ目を使用してムラがないように均一に接着剤を塗布してください。

《接着剤の塗布の仕方》

周囲の壁際を先に切り込んでからシートを接合部から幅方向に向かって左右に折り返し(幅折り返し)、その部分に接着剤を塗布し圧着してください。そして残りの半部分をそれぞれ折り返し接着してください。

7. ノンスキッドの貼り付け・圧着・エア抜き

オープンタイムを取り、貼り付け可能時間内にシートを貼り付け、しごき板でエア抜きしてから圧着時間内にローラーをかけてください。空気だまりがある場合は、しごき棒などで目地の方向に向かって押し出してください。空気だまりは下地の湿気の影響を受けて膨れの原因になりやすいため、小さなものでも見逃さず必ず取り除いてください。ヒートガンやトーチランプなどを使用する場合は、熱風の温度が高すぎると、シート表面が溶解しツヤが出る場合がありますので、温度に注意して施工を行ってください。

8. 継ぎ目処理

継ぎ目処理は専用の溶接棒を用いて熱溶接をしてください。

●溝切り

シートの貼り付け・圧着の後、接着剤が完全に硬化してから、継ぎ目部分をU字もしくはV字に溝切りします。
※溝の深さは、シートの厚みに対して2/3程度としてください。
※ジョイント箇所は、溶接後の水掃けを考慮しエンボスの一番低い部分でジョイントしてください。

●熱風溶接

専用溶接機ライスターを使用して目地部分を溶接します。
※熱風の温度が高すぎると、ジョイント周辺のシート表面が溶解し、ツヤが出る場合がありますので十分に注意してください。

●余剰部分カット

溶接棒が十分に固まった状態でスパトラナイフなどを用いて余剰部分をカットします。
※溶接棒が固まる前にカットすると、後に溶接棒がヤセ、凹みとなる場合がありますので十分に注意してください。

9. 端部仕上げ

ノンスキッドの端末には、専用シール材であるWPシール・HSシールを充填して処理してください。

●シーリング部の確認

シーリングを施す面が、ゴミや埃などによって汚れていないかを確認してください。汚れている場合は清掃し、また湿気のある場合は十分に乾燥させてから作業を行ってください。

●プライマー塗布

WPプライマー (BB-613)を下地に塗布してください。その上で十分に乾燥させてから次の工程に移ってください。

●マスキング処理

仕上がりを美しくするために、シーリング部分にマスキングテープを貼りマスキング処理をしてください。

●充填と仕上げ

気泡を取り込まないようにシーリング面に均一になるように充填し、充填後は平らになるようにヘラで整えてください。ヘラ仕上げの際に、気泡の取り込みによりへこみが生じた場合は、すぐにシール材をやや多めに充填し、再びヘラで仕上げてください。最後にマスキングテープを剥がしてください。その際テープに付いたシール材で床を汚さないように注意してください。

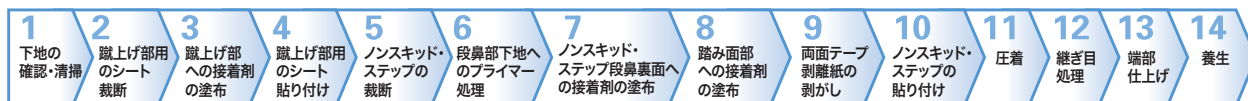


10. 養生

施工完了後、床材の浮き、膨れ、剥がれ、突き上げなどの不備や接着剤による汚れがないかを確認します。施工後の汚れや破損を防止するため、必要に応じて養生シートなどで保護してください。また、シール剤が完全に硬化するまでは、シール部分を踏んだり、ブラシなどでの清掃はお避けください。接着剤が完全に乾燥固化するまでは、突き上げ・目隙・膨れなどを発生させる恐れがあるので、重量物などのキャスターによるしごきは避けください。

ノンスキッド・ステップ(踏み面タイプ)施工説明

基本手順



1. 下地の確認・清掃

砂やチリ、埃などを除去し、適切な下地処理を行い、下地が十分に平滑で乾燥していることを確認してください。
※平鋼板下地は、エポキシ系防錆塗料で十分な防錆処理をしてください。

2. 蹴上げ部用のシート裁断

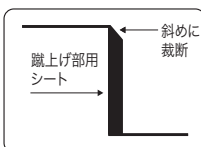
※2～4は蹴上げ部シートを施工する場合のみ。
階段蹴上げ部の幅、高さを測定し、蹴上げ部用シートの長手方向が階段蹴上げの幅方向となるように裁断してください。

3. 蹴上げ部への接着剤の塗布

階段蹴上げ部にWG(BB-601～603)を塗布してください。
※オープンタイムは10～15分程度が目安です。

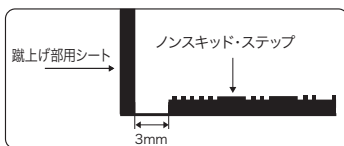
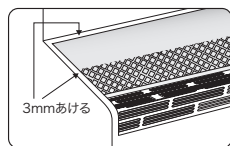
4. 蹴上げ部用のシート貼り付け

貼り付け後はハンドローラーなどで十分圧着してください。
蹴上げ部用シート上端部は斜めに裁断してください。



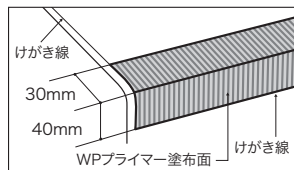
5. ノンスキッド・ステップの裁断

踏み面部の幅、奥行きを測定し、シール剤(端部処理剤)の仕上げしろとして3mm程度短く裁断してください。
左右両端部をあけて施工する場合、あらかじめ下地にあける寸法をけがき、幅を測定してください。
階段に排水溝がある場合は、排水溝より5～15mm程度手前でノンスキッド・ステップを裁断してください。



6. 段鼻部下地へのプライマー処理

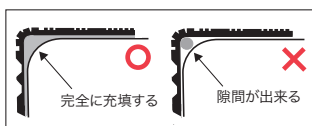
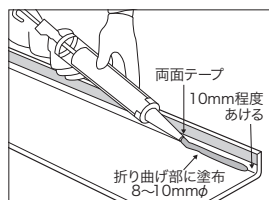
段鼻部の下地には、必ずプライマー処理を行ってください。



図の斜線部の下地に、WPプライマー(BB-613)をハケで均一に塗布し、30分程度乾燥させてください。
WPプライマー塗布面は、汚さないように注意してください。

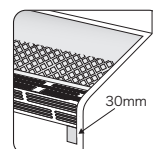
7. ノンスキッド・ステップ段鼻裏面への接着剤の塗布

ノンスキッド・ステップ段鼻の裏面に、WPステップカートリッジ(BB-604)を8～10mmφの太さで、塗布してください。
両端より10mm程度内側まで塗布してください。
ノンスキッド・ステップを貼り付けるとき、段鼻裏面から蹴上げ部に接着剤が行き渡り、強固に接着出来ます。
※オープンタイムは10～20分程度が目安です。
WPステップを塗布しなかったり、塗布量が不十分な場合、段鼻部の亀裂や剥離が発生する場合がありますので、ご注意ください。



8. 踏み面部への接着剤の塗布

WG(BB-601～603)を踏み面部全体(段鼻部の前垂れ部は含まず)にくし目ゴテで塗布してください。
※オープンタイムは10～15分程度が目安です。

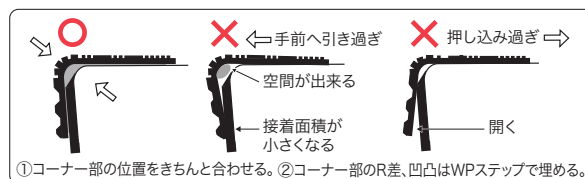


9. 両面テープ剥離紙の剥がし

ノンスキッド・ステップ裏面に貼り付けてある両面テープの剥離紙を30mm程度剥がしてください。

10. ノンスキッド・ステップの貼り付け

ノンスキッド・ステップの折り曲げ部分を階段の段鼻部に合わせ、折り曲げ部に空洞が生じないように貼り付けてください。



11. 圧着

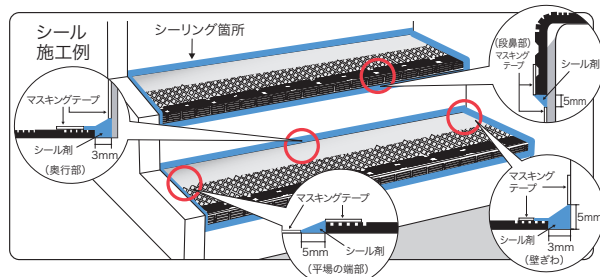
ノンスキッド・ステップの踏み面部をハンドローラーなどで圧着してください。
接着剤のはみ出し、商品の変形が発生する場合がありますので、段鼻部は圧着し過ぎないようにご注意ください。
剥離紙を全て剥がし、ローラーで圧着してください。

12. 継ぎ目処理

ノンスキッド・ステップとノンスキッドの継ぎ目は、接着剤が硬化してから、専用溶接棒を用いて熱溶接してください。

13. 端部仕上げ

ノンスキッド・ステップ蹴込みシート端部を、5mm幅程度に仕上げるようにマスキングテープで養生してください。
各種シール剤で周囲の端部をすべてシーリングします。
シーリング後、仕上げ用ヘラで仕上げ、マスキングテープを剥がします。



※ノンスキッド・ステップ(踏み面タイプ)のみの施工の場合です。蹴上げ部にシートを施工する際は、蹴上げ部両サイドもシーリングしてください。

14. 養生

清掃後、接着剤とシール剤が硬化するまで歩行を控えてください(48時間程度)。
特に、接着剤が硬化する前に段鼻部の角を踏まないようご注意ください。段鼻部が変形したまま接着剤が硬化しますと、剥離や亀裂が発生する恐れがあります。

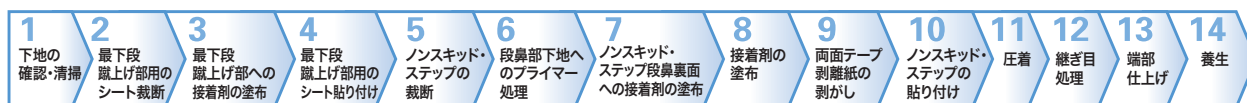
専用接着剤の標準塗布量

		910mm巾	1210mm巾
BB-602	WG10kg缶	110段/缶	82段/缶
BB-604	WPステップカートリッジ×2本セット	20段/セット	14段/セット
BB-613	WPプライマー400g缶	79段/缶	59段/缶

※踏み面の奥行き250mmを想定し算出しています。

ノンスキッド・ステップ(蹴込み一体タイプ)施工説明

基本手順



1. 下地の確認・清掃

砂やチリ、埃などを除去し、適切な下地処理を行い、下地が十分に平滑で乾燥していることを確認してください。
※平鋼板下地は、エポキシ系防錆塗料で十分な防錆処理をしてください。

2. 最下段蹴上げ部用のシート裁断

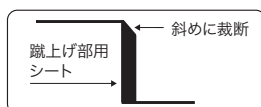
最下段の蹴上げ部の幅、高さを測定し、ノンスキッド・ステップを裁断して蹴上げ部用シートとして使用してください。
残った材料は最上段の踊り場で使用します。

3. 最下段蹴上げ部への接着剤の塗布

最下段の蹴上げ部にWG(BB-601～603)を塗布してください。
※オープンタイムは10～15分程度が目安です。

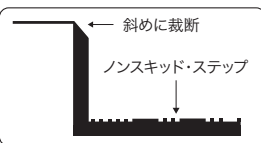
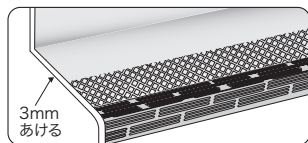
4. 最下段蹴上げ部用のシート貼り付け

貼り付け後はハンドローラーなどで十分圧着してください。
蹴上げ部用シート上端部は斜めに裁断してください。



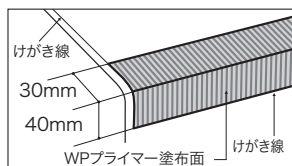
5. ノンスキッド・ステップの裁断

踏み面部の幅・奥行き、蹴上げ部の幅・高さを測定し、シール剤(端部処理剤)の仕上げるとして幅は3mm程度短く裁断してください。
左右両端部をあけて施工する場合、あらかじめ下地にあける寸法をけがき、幅を測定してください。
階段に排水溝がある場合は、排水溝より5～15mm程度手前でノンスキッド・ステップを裁断してください。



6. 段鼻部下地へのプライマー処理

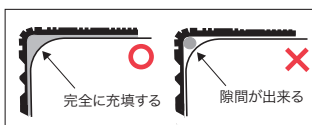
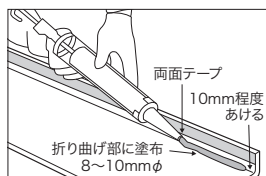
段鼻部の下地には、必ずプライマー処理を行ってください。



図の斜線部の下地に、WPプライマー(BB-613)をハケで均一に塗布し、30分程度乾燥させてください。
WPプライマー塗布面は、汚さないように注意してください。

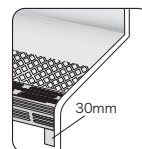
7. ノンスキッド・ステップ段鼻裏面への接着剤の塗布

ノンスキッド・ステップ段鼻の裏面に、WPステップカートリッジ(BB-604)を8～10mmφの太さで、塗布してください。
両端より10mm程度内側まで塗布してください。
ノンスキッド・ステップを貼り付けるとき、段鼻裏面から蹴上げ部に接着剤が行き渡り、強固に接着出来ます。
※オープンタイムは10～20分程度が目安です。
WPステップを塗布しなかったり、塗布量が不十分な場合、段鼻部の亀裂や剥離が発生する場合がありますので、ご注意ください。



8. 接着剤の塗布

WG(BB-601～603)を、踏み面及び蹴上げ部全体(段鼻部の前垂れ部は含まず)にくし目ゴテで塗布してください。
※オープンタイムは10～15分程度が目安です。



9. 両面テープ剥離紙の剥がし

ノンスキッド・ステップ裏面に貼り付けてある両面テープの剥離紙を30mm程度剥がしてください。

10. ノンスキッド・ステップの貼り付け

ノンスキッド・ステップの折り曲げ部分を階段の段鼻部に合わせ、折り曲げ部に空洞が生じないように貼り付けてください。



11. 圧着

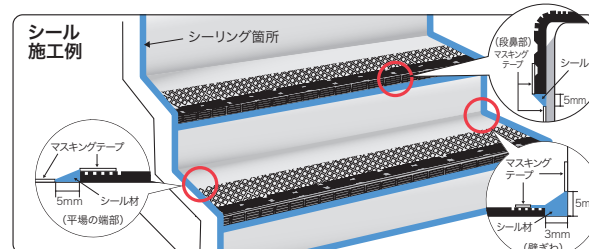
ノンスキッド・ステップの踏み面部及び蹴上げ部をハンドローラーなどで圧着してください。
接着剤のはみ出し、商品の変形が発生する場合がありますので、段鼻部は圧着し過ぎないようにご注意ください。
剥離紙を全て剥がし、ローラーで圧着してください。

12. 継ぎ目処理

ノンスキッド・ステップとノンスキッドの継ぎ目は、接着剤が硬化してから、専用溶接棒を用いて熱溶接してください。

13. 端部仕上げ

ノンスキッド・ステップ端部を、5mm幅程度に仕上がるようにマスキングテープで養生してください。
各種シール材で周囲の端部をすべてシーリングします。
シーリング後、仕上げ用ヘラで仕上げ、マスキングテープを剥がします。



14. 養生

清掃後、接着剤とシール剤が硬化するまで歩行を控えてください(48時間程度)。
特に、接着剤が硬化する前に段鼻部の角を踏まないようご注意ください。段鼻部が変形したまま接着剤が硬化しますと、剥離や亀裂が発生する恐れがあります。

専用接着剤の標準塗布量

		910mm巾	1210mm巾
BB-602	WG10kg缶	60段/缶	46段/缶
BB-604	WPステップカートリッジ×2本セット	20段/セット	14段/セット
BB-613	WPプライマー400g缶	79段/缶	59段/缶

※踏み面の奥行き250mm、蹴上げの高さ200mmを想定し算出しています。

ノンスキッド・エアコン排水目地(一般タイプ)施工説明

基本手順



1. 下地の確認

下地が平滑、堅牢で勾配は1/100以上あることを確認してください。

2. 取り付け位置の確認

室外機と排水ホースの位置を確認してください。

3. 排水目地の取り付け

排水目地(一般タイプ)とノンスキッドを接着剤で施工してください。

4. 継ぎ目処理

排水目地とノンスキッドは、溶接棒もしくはパーフェクトシームジェルチューブ入り(BB-394)でジョイントしてください。

※2口ホース受けの場合は継ぎ目処理の前に施工してください。

※右図のようにホース受け側面、先端部および先端裏面にパーフェクトシームジェルチューブ入り(BB-394)を塗布してから排水目地に設置してください。

5. 端部処理

シートと排水目地の端部をマスキングテープで養生し、WPシールもしくはHSシールで端部処理を行ってください。端部処理後にマスキングテープを取り除いてください。

※水の流れを妨げないように、排水目地の排水部分へのシールはお避けください。

6. ホース受けの取り付け

1口ホース受けを同梱の専用接着剤で排水目地にしっかりと固定してください。

ホース受け 1口 PXC-101~106

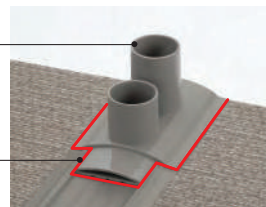
ホース受けと排水目地は同梱の専用接着剤で接着します。



ホース受け 2口 PXC-311~316

ホース受け内径22mmφ
外径25mmφ

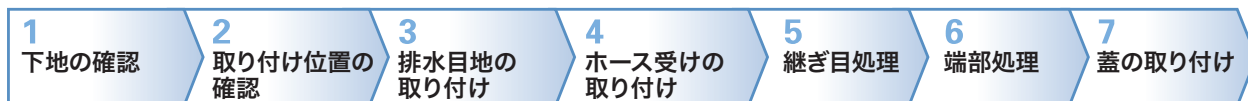
ホース受けと排水目地はパーフェクトシームジェルチューブ入り(BB-394)で接着します。



※溶接棒の場合、接着部分と床材に光沢の差が生じることがあります。

ノンスキッド・エアコン排水目地(蓋付きタイプ)施工説明

基本手順



1. 下地の確認

下地が平滑、堅牢で勾配は1/100以上あることを確認してください。

2. 取り付け位置の確認

室外機と排水ホースの位置を確認してください。

3. 排水目地の取り付け

排水目地(ベース)とノンスキッドを接着剤で施工してください。

4. ホース受けの取り付け

2口ホース受けを接着剤で施工してください。取り付けの際は、ホース受け側面、先端部および先端裏面にパーフェクトシームジェルチューブ入り(BB-394)を塗布してから排水目地に設置してください。

5. 継ぎ目処理

排水目地とノンスキッドは、溶接棒もしくはパーフェクトシームジェルチューブ入り(BB-394)でジョイントしてください。

6. 端部処理

シートと排水目地の端部をマスキングテープで養生し、WPシールもしくはHSシールで端部処理を行ってください。端部処理後にマスキングテープを取り除いてください。

※水の流れを妨げないように、排水目地の排水部分へのシールはお避けください。

7. 蓋の取り付け

排水目地(蓋)を適切な長さにカットして取り付けます。

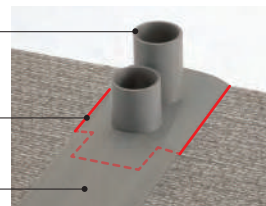
取り付けの際は排水目地(ベース)片側のかみ合わせ部に排水目地(蓋)をひっかけ、もう一方のかみ合わせ部に軽く押し込むようにして取り付けてください。

ホース受け 2口 PXC-411~416

ホース受け内径22mmφ
外径25mmφ

ホース受けと排水目地はパーフェクトシームジェルチューブ入り(BB-394)で接着します。

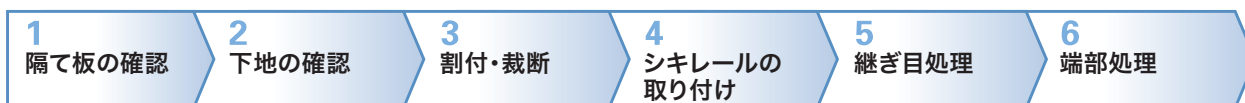
蓋が取り外せるため
お手入れが簡単です。



※溶接棒の場合、接着部分と床材に光沢の差が生じることがあります。

シキレール施工方法

基本手順



1. 隔て板の確認

隔て板の枠材と床面との隙間が30mm以上あることを確認してください。30mm未満の場合、施工ができません。

2. 下地の確認

下地が平滑、堅牢であり、勾配が1/100以上あることを確認してください。

3. 割付・裁断

シキレールと隔て板の中心が合うように割付てください。
住戸側壁面の端部シール処理作業のため、住戸側端部の立ち上がり部分を20mm程度切り取ってください。
※立ち上がり部分を折り曲げたり、力を加えたりしないでください。
変形や破損の原因となります。

4. シキレールの取り付け

下地に接着剤を塗布し適切なオープンタイムを取り、シキレールとノンスキッドを貼り付け、十分に圧着してください。シキレールを貼り付ける際は端部カットした方を住戸側壁面に向けて施工してください。

5. 継ぎ目処理

接着剤が硬化してから、継ぎ目をU字にカットし、専用の溶接棒を用いて溶接棒を熱溶接処理してください。

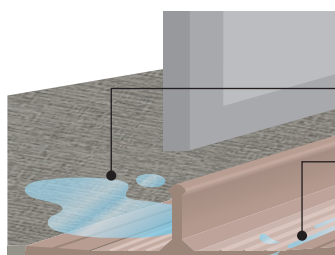
6. 端部処理

側溝側および住戸側の端部をマスキングテープで養生し、WPシールもしくはHSシールで端部処理を行ってください。
※水の流れを妨げないよう排水部分へのシールはお避けください。



特許登録済

シキレールは2.5mm厚ノンスキッドとの組み合わせを標準としていますが、2.0mm厚ノンスキッドと組み合わせることもできます。2.0mm厚ノンスキッドと組み合わせる場合はシキレールにV溝を設けていますので、V溝に沿ってカットしてご使用いただくことでシキレールの厚みが2.0mm厚となります。

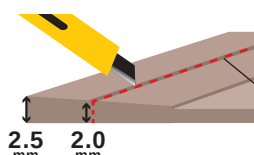


Point

隣接住戸への水の侵入を防げます

ガイドラインが水の流れを助けます

特許登録済 / 2.5mm 厚・2.0mm 厚 どちらにも対応できます



ノンスキッド 2.5mm 厚の場合

切らずにそのままお使いいただけます。

ノンスキッド 2.0mm 厚の場合

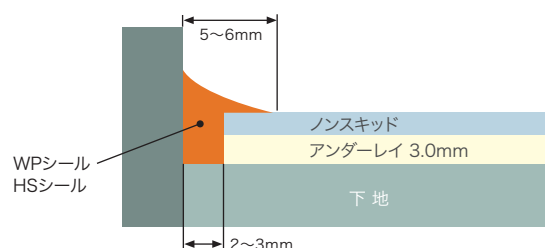
V溝に沿ってカットしてお使いいただけます。

ノンスキッドアンダーレイシート端部施工方法

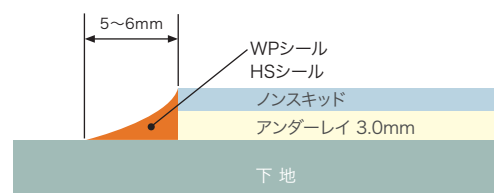
ノンスキッドアンダーレイの端部処理例

必ず四方のシール処理を行ってください。

壁際のシール仕上げ



側溝側のシール仕上げ



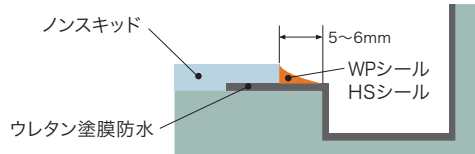
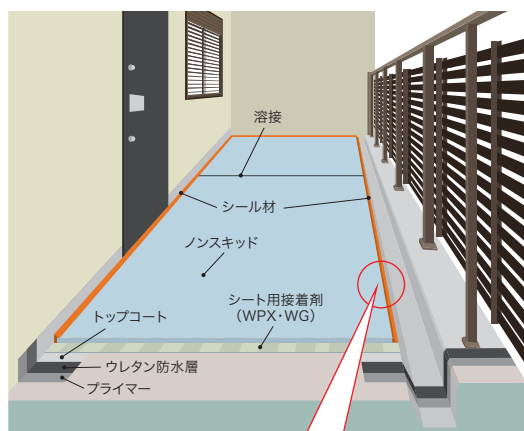
ノンスキッド施工納まり図

開放廊下・ベランダ 工法1

※ノンスキッド + ウレタン塗膜防水材複合法

施工箇所：開放廊下・ベランダ

納まり図

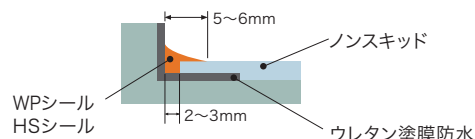
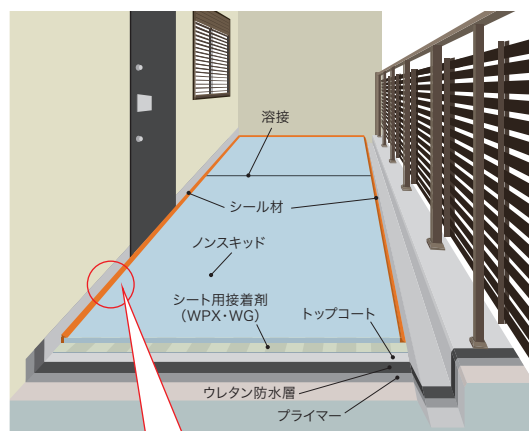


開放廊下・ベランダ 工法2

※ノンスキッド + ウレタン塗膜防水材(全面塗布)複合法

施工箇所：開放廊下・ベランダ

納まり図



各工法の概要（開放廊下・ベランダ床工法）

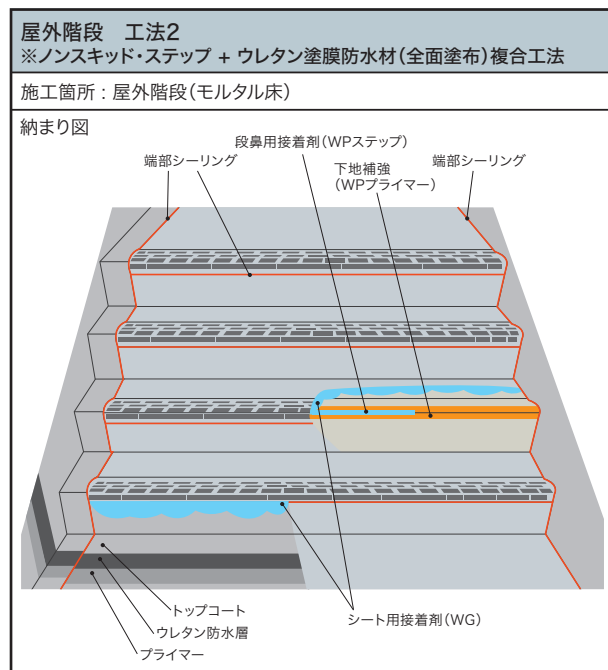
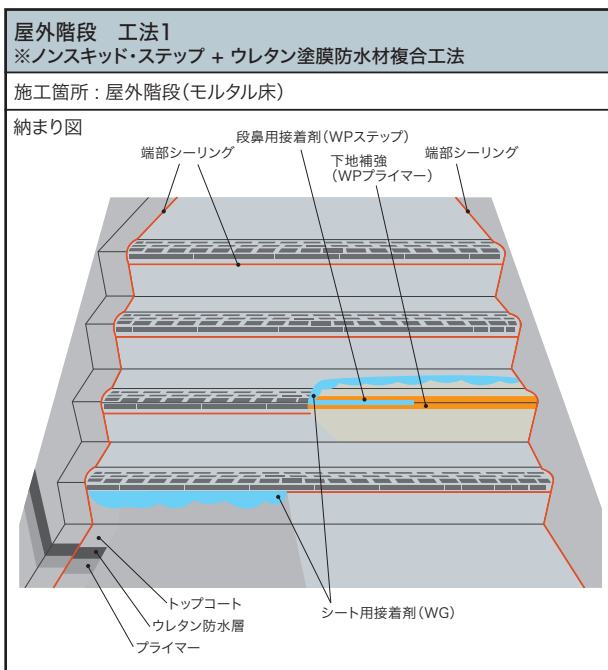
工 程		材 料	標準使用量 (※1)	間隔時間	施工用具
1	下地調整	施工面のケレン・清掃を行い、既存床の油脂汚れなどを十分清掃する。 床面の不陸などがある場合は、補修をして平滑に仕上げる。			
2	塗膜防水 (※3)	ウレタンゴム系塗膜防水材	JIS A 6021適合品とし、材料・工法は各メーカーの仕様とする。		
3	接着剤塗布	ウレタン樹脂系溶剤形(WPX・WG)	約0.35kg/m ²	オープントイム 10～20分(※2)	床用ヘラ
4	シート貼り	防滑性ビニル床シート(ノンスキッド)		貼付可能時間 40～60分(※2)	床用ローラー
5	継ぎ目処理	専用溶接棒			専用溶接機
6	端部仕上	ウレタン樹脂系(WPシール) 変成シリコーン樹脂系(HSシール)	約0.02kg/m	端部仕上後 2～3日養生	カートリッジ

【注意事項】 ※1.施工状況により若干異なることがあります。

※2.間隔時間は、施工時の環境により異なります。シート施工後は2日間養生してください。

※3.塗膜防水によっては、接着剤の密着性が発揮出来ないものがありますのでご注意ください。

ノンスキッド・ステップ施工納まり図



各工法の概要 (屋外階段床工法)

工 程		材 料	標準使用量 (※1)	間隔時間	施工用具
1	下地調整	施工面のケレン・清掃を行い、既存床の油脂汚れなどを十分清掃する。 床面の不陸などがある場合は、補修をして平滑に仕上げる。			
2	塗膜防水 (※4)	ウレタンゴム系塗膜防水材	JIS A 6021 適合品とし、材料・工法は各メーカーの仕様とする		
3	接着剤塗布	ウレタン樹脂系溶剤形(WPステップ・WG)	約0.4kg/m ²	オープンタイム 10～20分(※2)	カートリッジ 床用ヘラ
	下地補強 (段鼻部分)	ウレタン樹脂系溶剤形(WPプライマー)	約0.1kg/m ²	オープンタイム 30分以上(※3)	床用ハケ
4	シート貼り	階段用防滑性ビニル床シート(ノンスキッド・ステップ)		貼付可能時間 30～45分(※2)	床用ローラー
5	継ぎ目処理	専用溶接棒			専用溶接機
6	端部仕上	ウレタン樹脂系(WPシール) 変成シリコン樹脂系(HSシール)	約0.02kg/m	端部仕上後 2～3日養生	カートリッジ

- 【注意事項】 ※1. 施工状況により若干異なることがあります。
 ※2. 間隔時間は、施工時の環境により異なります。ノンスキッド・ステップ施工後は2日間養生してください。
 ※3. オープンタイムが長すぎると汚れが付着し、プライマー効果も薄れるため、30分経過後は早めに施工してください。
 ※4. 塗膜防水によっては、接着剤の密着性が発揮出来ないものがありますのでご注意ください。

ノンスキッド、ノンスキッド・ステップ、副資材組み合わせ一覧表

ノンスキッド	ノンスキッド ステップ	シーラント		排水目地		ホース受け			シキレール
		WP シール	HS シール	一般タイプ	蓋付きタイプ	1 口	2 口 一般タイプ専用	2 口 蓋付きタイプ専用	
PX-210	—	BB-565	BB-553	PXD-301	PXD-411	PXC-101	PXC-311	PXC-411	PXS-101
PX-211	—	BB-565	BB-553	PXD-301	PXD-411	PXC-101	PXC-311	PXC-411	PXS-101
PX-212	—	BB-567	BB-554	PXD-302	PXD-412	PXC-102	PXC-312	PXC-412	PXS-101
PX-220	—	BB-569	BB-555	PXD-304	PXD-414	PXC-104	PXC-314	PXC-414	PXS-103
PX-221	—	BB-570	BB-564	PXD-306	PXD-416	PXC-106	PXC-316	PXC-416	PXS-103
PX-201	—	BB-569	BB-555	PXD-304	PXD-414	PXC-104	PXC-314	PXC-414	PXS-103
PX-202	—	BB-567	BB-554	PXD-302	PXD-412	PXC-102	PXC-312	PXC-412	PXS-101
PX-203	—	BB-568	BB-563	PXD-305	PXD-415	PXC-105	PXC-315	PXC-415	PXS-103
PX-230	—	BB-565	BB-574	PXD-301	PXD-411	PXC-101	PXC-311	PXC-411	PXS-101
PX-231	—	BB-570	BB-564	PXD-304	PXD-414	PXC-104	PXC-314	PXC-414	PXS-103
PX-590	PX-5701～5704	BB-569	BB-555	PXD-306	PXD-416	PXC-106	PXC-316	PXC-416	PXS-103
PX-591	PX-5711～5714	BB-568	BB-563	PXD-305	PXD-415	PXC-105	PXC-315	PXC-415	PXS-103
PX-570	PX-5701～5704	BB-569	BB-555	PXD-304	PXD-414	PXC-104	PXC-314	PXC-414	PXS-103
PX-571	PX-5711～5714	BB-568	BB-563	PXD-305	PXD-415	PXC-105	PXC-315	PXC-415	PXS-103
PX-572	PX-5721～5724	BB-568	BB-563	PXD-306	PXD-416	PXC-106	PXC-316	PXC-416	PXS-103
PX-530	PX-5701～5704	BB-569	BB-555	PXD-304	PXD-414	PXC-104	PXC-314	PXC-414	PXS-103
PX-531	PX-5711～5714	BB-568	BB-563	PXD-305	PXD-415	PXC-105	PXC-315	PXC-415	PXS-103
PX-532	PX-5721～5724	BB-568	BB-563	PXD-305	PXD-415	PXC-105	PXC-315	PXC-415	PXS-103
PX-550	—	BB-567	BB-554	PXD-302	PXD-412	PXC-102	PXC-312	PXC-412	PXS-101
PX-610	PX-8901～8904	BB-565	BB-553	PXD-301	PXD-411	PXC-101	PXC-311	PXC-411	PXS-101
PX-611	PX-8911～8914	BB-565	BB-553	PXD-301	PXD-411	PXC-101	PXC-311	PXC-411	PXS-101
PX-612	PX-8921～8924	BB-569	BB-555	PXD-304	PXD-414	PXC-104	PXC-314	PXC-414	PXS-103
PX-613	PX-8931～8934	BB-568	BB-563	PXD-305	PXD-415	PXC-105	PXC-315	PXC-415	PXS-103
PX-881	PX-8911～8914	BB-565	BB-553	PXD-301	PXD-411	PXC-101	PXC-311	PXC-411	PXS-101
PX-882	PX-8911～8914	BB-566	BB-562	PXD-303	PXD-413	PXC-103	PXC-313	PXC-413	PXS-102
PX-883	PX-8691～8694	BB-567	BB-554	PXD-302	PXD-412	PXC-102	PXC-312	PXC-412	PXS-101
PX-801	PX-8911～8914	BB-565	BB-553	PXD-301	PXD-411	PXC-101	PXC-311	PXC-411	PXS-101
PX-802	PX-8911～8914	BB-566	BB-562	PXD-303	PXD-413	PXC-103	PXC-313	PXC-413	PXS-102
PX-803	PX-8691～8694	BB-567	BB-554	PXD-302	PXD-412	PXC-102	PXC-312	PXC-412	PXS-101
PX-804	PX-8691～8694	BB-568	BB-563	PXD-305	PXD-415	PXC-105	PXC-315	PXC-415	PXS-103
PX-820	PX-8901～8904	BB-565	BB-553	PXD-301	PXD-411	PXC-101	PXC-311	PXC-411	PXS-101
PX-821	PX-8911～8914	BB-567	BB-554	PXD-302	PXD-412	PXC-102	PXC-312	PXC-412	PXS-101
PX-822	PX-8921～8924	BB-570	BB-564	PXD-306	PXD-416	PXC-106	PXC-316	PXC-416	PXS-103
PX-870	PX-8921～8924	BB-569	BB-555	PXD-304	PXD-414	PXC-104	PXC-314	PXC-414	PXS-103
PX-871	PX-8931～8934	BB-570	BB-564	PXD-306	PXD-416	PXC-106	PXC-316	PXC-416	PXS-103
PX-810	PX-8691～8694	BB-567	BB-554	PXD-302	PXD-412	PXC-102	PXC-312	PXC-412	PXS-101
PX-811	PX-8681～8684	BB-568	BB-563	PXD-305	PXD-415	PXC-105	PXC-315	PXC-415	PXS-103
PX-812	PX-8601～8604	BB-569	BB-555	PXD-304	PXD-414	PXC-104	PXC-314	PXC-414	PXS-103
PX-813	PX-8671～8674	BB-570	BB-564	PXD-306	PXD-416	PXC-106	PXC-316	PXC-416	PXS-103
PX-815	PX-8601～8604	BB-569	BB-555	PXD-304	PXD-414	PXC-104	PXC-314	PXC-414	PXS-103
PX-816	PX-8691～8694	BB-567	BB-554	PXD-302	PXD-412	PXC-102	PXC-312	PXC-412	PXS-101
PX-840	PX-8601～8604	BB-569	BB-555	PXD-304	PXD-414	PXC-104	PXC-314	PXC-414	PXS-103

※近似色での推奨品番となります。

ノンスキッド、ノンスキッド・ステップ、副資材組み合わせ一覧表

ノンスキッド	ノンスキッド ステップ	シーラント		排水目地		ホース受け			シキレール
		WP シール	HS シール	一般タイプ	蓋付きタイプ	1 口	2 口 一般タイプ専用	2 口 蓋付きタイプ専用	
PX-841	PX-8681～8684	BB-568	BB-563	PXD-305	PXD-415	PXC-105	PXC-315	PXC-415	PXS-103
PX-842	PX-8671～8674	BB-570	BB-564	PXD-306	PXD-416	PXC-106	PXC-316	PXC-416	PXS-103
PX-751	PX-5721～5724	BB-570	BB-564	PXD-306	PXD-416	PXC-106	PXC-316	PXC-416	PXS-103
PX-752	PX-5701～5704	BB-569	BB-555	PXD-306	PXD-416	PXC-106	PXC-316	PXC-416	PXS-103
PX-753	PX-5711～5714	BB-568	BB-563	PXD-305	PXD-415	PXC-105	PXC-315	PXC-415	PXS-103
PX-951	PX-8901～8904	BB-565	BB-553	PXD-301	PXD-411	PXC-101	PXC-311	PXC-411	PXS-101
PX-952	PX-5711～5714	BB-568	BB-563	PXD-305	PXD-415	PXC-105	PXC-315	PXC-415	PXS-103
PX-953	PX-5721～5724	BB-570	BB-564	PXD-306	PXD-416	PXC-106	PXC-316	PXC-416	PXS-103
PM-981	PX-8691～8694	BB-565	BB-553	PXD-301	PXD-411	PXC-101	PXC-311	PXC-411	—
PM-982	PX-8681～8684	BB-567	BB-554	PXD-302	PXD-412	PXC-102	PXC-312	PXC-412	—
PM-983	PX-8671～8674	BB-570	BB-564	PXD-306	PXD-416	PXC-106	PXC-316	PXC-416	—
—	PX-5701～5704	BB-569	BB-555	—	—	—	—	—	—
—	PX-5711～5714	BB-568	BB-563	—	—	—	—	—	—
—	PX-5721～5724	BB-568	BB-563	—	—	—	—	—	—
—	PX-8601～8604	BB-569	BB-555	—	—	—	—	—	—
—	PX-8671～8674	BB-570	BB-564	—	—	—	—	—	—
—	PX-8691～8694	BB-567	BB-554	—	—	—	—	—	—
—	PX-8681～8684	BB-568	BB-563	—	—	—	—	—	—
—	PX-8901～8904	BB-565	BB-553	—	—	—	—	—	—
—	PX-8911～8914	BB-565	BB-553	—	—	—	—	—	—
—	PX-8921～8924	BB-569	BB-555	—	—	—	—	—	—
—	PX-8931～8934	BB-568	BB-563	—	—	—	—	—	—

※近似色での推奨品番となります。

ノンスキッドメンテナンスガイド

■ 日常メンテナンス

【予防清掃】

建物内の汚れの80%は外から運び込まれます。靴底に付着した泥・砂などが建物内に持ち込まれ、それが建物内の床材にキズを付け、汚れがキズに入り込みます。

- 建物内の美観を維持するためには、エントランスやエレベーター前などに防塵マットを敷き、外部から汚れが持ち込まれないように配慮してください。

【日常清掃】

日常清掃のポイントは『汚れる前に予防清掃をする』ことです。汚れがひどくなる前に汚れの原因を取り除くことで、長い期間の美観維持につながります。

- ①防塵マットに入り込んだ砂やチリ、埃などを掃除機にて回収してください。
- ②掃除機やほうき、ダスタークロスなどで床面を掃除し、砂やチリ、埃などを除去してください。
- ③指定倍率に薄めた洗浄剤を床面にモップなどで塗布し、デッキブラシで擦り、水を流します。ぬるま湯にすると洗剤の洗浄効果が上がります。その後モップなどで水拭きし、汚れを含んだ洗浄剤成分を完全に除去し、乾燥させてください。

■ 定期メンテナンス

日常のメンテナンスでは除去できない汚れが堆積したら、定期メンテナンスを行ってください。

- ①掃除機やほうき、ダスタークロスなどで床面を掃除し、砂やチリ、埃などを除去してください。
- ②指定倍率に薄めた洗浄剤を床面にモップなどで塗布し、日常清掃では取り除けない汚れをポリッシャーで洗浄して取り除き、スキージーなどで汚水を迅速に回収・除去してください。その後モップなどで水拭きし、汚れを含んだ洗浄剤成分を完全に除去し、乾燥させてください。

※屋外や半屋外でご使用の際は、ワックスの塗布は避けください。

※使用年数が経過するにつれ、水垢が蓄積されることがありますので、定期的に水垢除去の洗浄を行うことをおすすめします。

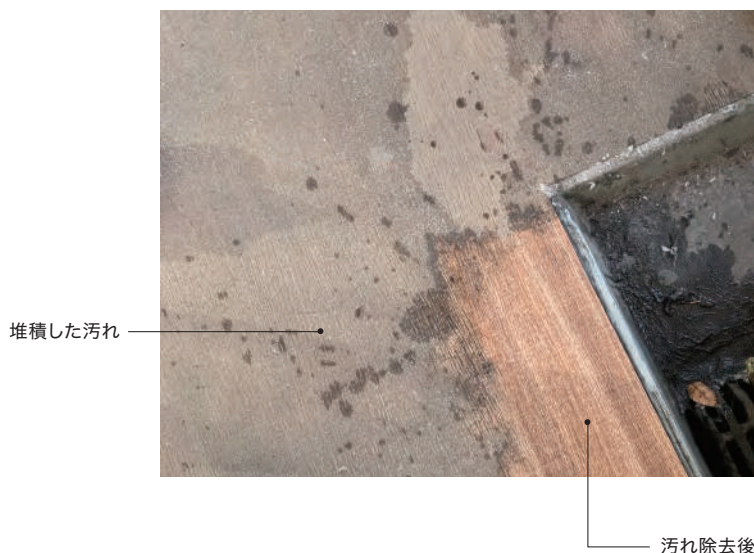
【注意事項】

床材やご使用用途・目的に応じた洗浄剤やパッドをお選びください。

洗浄剤は製造元が推奨する使用方法を必ずご確認の上、ご使用ください。

日常メンテナンスや定期メンテナンスを実施することで汚れの堆積を未然に防ぐことができます。

汚れが堆積すると美観を損ない、床材の防滑性にも影響しますので、メンテナンスで清掃し、汚れを取り除いてください。



ノンスキッド・エアコン排水目地メンテナンスガイド

1.排水目地タイプの確認

ノンスキッド・エアコン排水目地が蓋付きタイプの場合は、蓋を取り外してください。
一般タイプの場合はこの作業は不要です。

2.水圧によって砂や埃などを取り除く

付近の水道蛇口よりホースを繋げ、2口ホース受けの場合はホース受け口にホースを差し込み、水圧をかけるようにして水を流し込んで砂や埃などを押し出してください。1口ホース受けの場合は、直接排水目地を清掃してください。

※水圧が強すぎたり水量が多すぎると、ホース受けより水が溢れ出しますのでご注意ください。

※溢れ限界水量は下記の「ノンスキッド・エアコン排水目地の限界流量について」をご参照ください。

3.洗剤を使用する(水垢・しつこい汚れ)

水垢やしつこい汚れは洗剤の使用をおすすめします。

洗剤の一例として、ジェルタイプのパイプクリーナー(アルカリ性)をご使用ください。

成分:次亜塩素酸、水酸化ナトリウム(5%)、界面活性剤(アルキリアミンオキシド)

※洗剤の使用方法につきましては、洗剤ボトルの使用方を参照の上でご使用ください。



エアコン排水目地 一般タイプ



エアコン排水目地 蓋付きタイプ

ノンスキッド・エアコン排水目地の限界流量について

マンションの開放廊下やバルコニーなどで使用されるノンスキッド・エアコン排水目地は、エアコンから流れてくる水の拡散を防ぐために使われます。

【試験方法】

- ①勾配1/100の床面にホース受けを付けたノンスキッド・エアコン排水目地をセットする。
 - ②水道口にコック付きのホースを繋げ、セットする。
 - ③水道水の蛇口を開け、コックで流量を調整しながら水を流し、ホース受けから溢れるまで水量を徐々に上げ、ホース受けより溢れた時の水量を計測する。
- ※排水目地の長さは、1,500mmの長さとする。

【試験結果】

品 名	品 番	2口ホース受け	1口ホース受け
一般タイプ	PXD-301~306	1,680	1,250
蓋付きタイプ	PXD-411~416	1,190	
シキレール	PXS-101~103	1,100(ホース直置きにて測定)	

※単位: ml/分

※上記の値は試験値であり、保証値ではありません。

※上記は1分間に水が平均的に流れていることが前提の試験値です。

※参考: 一般事務所用の29~43㎡用エアコン排水量…最大約235ml/分

接着剤・副資材

接着剤ペンリサイン	一般工法用				耐湿工法用(1液性)					耐湿工法用(2液性)		ノンスキッド・ステップ用	
	AR		PC-2		WPX		WG			EP-300		WPステップ	WPプライマー
品番	BB-516	BB-517	BB-576	BB-577	BB-479	BB-480	BB-601	BB-602	BB-603	BB-584	BB-575	BB-604	BB-613
容量	18kg	3kg	15kg	3kg	16kg	5kg	16kg	10kg	5kg	9kg×2缶	1kg×2缶	500g×2本	400g
標準価格(税別)	8,700円	2,500円	10,200円	3,100円	11,800円	6,200円	18,000円	13,000円	8,900円	27,500円	6,000円	3,900円	1,550円
施工可能面積(m ²)	55	9	40~45	8~9	45	14	45	28	14	50	5	14段	59段
主成分	アクリル樹脂系 エマルション形 (水性)		アクリル樹脂系 エマルション形 (水性)		ウレタン樹脂系 溶剤形 火気厳禁		ウレタン樹脂系 溶剤形 火気厳禁			エポキシ樹脂系 溶剤形 火気厳禁		ウレタン樹脂系 溶剤形 火気厳禁	ウレタン樹脂系 溶剤形 火気厳禁
ホルムアルデヒド放散量区分	JIS F☆☆☆☆		JAIA F☆☆☆☆		JIS F☆☆☆☆		JAIA F☆☆☆☆			JIS F☆☆☆☆		JIS F☆☆☆☆	—
ノンスキッド	○		○		○		○			○		×	×
ノンスキッド・ステップ	×		×		×		○			×		○	○

※下地の状況によっては表の○印の接着剤で接着できない場合もありますのでご注意ください。

端部処理剤

WPシール

333ml×2本 5,400円/セット(税別)



主成分:ウレタン樹脂系 火気厳禁
施工可能m数:40m/セット

HSシール

333ml×2本 5,200円/セット(税別)



主成分:変成シリコン樹脂系 火気厳禁
施工可能m数:40m/セット

ノンスキッド・ステップ タイプ別標準塗布量

ペンリサイン	ノンスキッド・ステップ	910mm巾		1210mm巾	
		踏み面 タイプ	蹴込み一体 タイプ	踏み面 タイプ	蹴込み一体 タイプ
BB-602	WG 10kg缶	110段 /缶	60段 /缶	82段 /缶	46段 /缶
BB-604	WPステップ カートリッジ ×2本セット	20段/セット		14段/セット	
BB-613	WPプライマー 400g缶	79段/缶		59段/缶	

※踏み面の奥行き250mm、蹴込みの高さ200mmを想定し算出した目安です。

目地処理・立上面 ジョイント剤

パーフェクトシーム シーム液ノズル容器



BB-381
250cc 5,500円/個(税別)
ノズル:針ノズル
※シーム液は別売りです
MADE IN GERMANY

パーフェクトシーム シーム液



BB-382
450g 4,600円/缶(税別)
主成分:テトラヒドロフラン・PVC
施工可能m数:150m/缶
火気厳禁 MADE IN GERMANY

パーフェクトシーム シーム液チューブ入り



BB-387
44g 2,000円/本(税別)
主成分:テトラヒドロフラン・PVC
施工可能m数:20m/本
火気厳禁 MADE IN GERMANY

パーフェクトシーム ジェルチューブ入り



BB-394
44g 2,000円/本(税別)
主成分:テトラヒドロフラン・PVC
施工可能m数:7m/本
火気厳禁 MADE IN GERMANY

関連資材

パーフェクトシーム マスキングテープ



シーム液が染み込みにくい
専用マスキングテープ
BB-388
0.17mm厚
30mm巾×50m巻
850円/巻(税別)

溶接棒

50m巻(切売不可)

ノンスキッド各色に合わせた
溶接棒があります。ご注文の
際は、巻単位でお願いします。
約3.5mmφ



下地補修剤

フロアセメント



BB-492
5kg 2,800円/袋(税別)
BB-493
1kg 750円/袋(税別)
主成分:セメント系
施工可能面積:
4~5m²/5kg、0.8~1m²/1kg

取扱上のご注意

選択上のご注意

- 物性試験データは、商品の耐久性を示す目安です。選択の際には商品の耐久性以上の用途でのご使用はお避けください。
- 建築基準法・消防法によって、使用方法ならびに使用場所に制限があります。各法令法規をご確認ください。
- 抗菌性を求められる場所では、抗菌マークのある商品をお選びください。人体に影響が少ない抗菌剤を使用していますが、乳幼児が誤って経口する可能性のある場所でのご使用はお避けください。
- 淡色系・無地調の床材ほど濃色系に比べて汚れが目立ちやすくなります。また、フラットな表面形状に比べて、エンボスが深いほど汚れが残りますのでお含みおきください。

運搬ならびに保管上のご注意

- 重量物ですので取り扱いには十分ご注意ください。落下や乱暴な取り扱いには、床材の破損だけでなく、傷害や器物破損などを招く場合があります。
- 縦置きの場合は、ロープなどで固定し、転倒防止を図ってください。横置き保管の場合は、依積みをお避けください。
- ご注文の際は、長さが9m巻(約45kg)を超える場合、配送が困難になりますのでご相談ください。

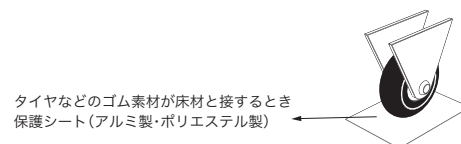
施工上のご注意

- 梱包紙に記載されている品名・品番・ロット・数量をご確認のうえ、施工を開始してください。同一床面上は、同ロットで仕上げてください。
- 幅継ぎをする際は、耳部どうしてジョイントしてください。
- 目地入りの商品をジョイントして施工する際、商品の特性上目地が合わない場合がありますので、特に広い面積で施工する場合には割り付けにご注意ください。
- 各商品別に、施工上の注意・接着剤などが異なりますので、商品掲載ページの施工上の注意をご参照ください。また施工する場所の環境や下地の状態により、接着剤や施工方法が異なる場合がありますのでご注意ください。
- 下地は平滑かつ清潔で乾燥して、良好な圧縮及び引張り強度があり、接着力を低下させるような構造的欠陥がないようにしてください。多孔質でもよい下地や粉っぽい下地はプライマー処理を行ってください。
- 不陸は適切なコンパウンドで補修してください。
- 鉗物ベースの下地(モルタル・コンクリートなど)で、新規あるいは土間床の場合は地下水分を測定してください。コンパウンドや接着剤は、床仕上げ材と同様に、適切な皮膜もしくはその他の方法で、高い残留水分や下地の湿気から遮断しておく必要があります。
- 下地にワックス・グリス・油脂類・塗料などの汚れ、ペン・ラッカーによるマーキングなどが残っていると、接着不良や汚染、変色を発生させる可能性がありますので、完全に除去してください。
- 床材は現場の室温によくなじませてから施工してください。室温と床材に温度差があると、施工直後だけでなく、後日、目地隙、突き上げなどをおこすことがあります。
- 接着の際は、床材の指定接着剤を使用し、接着剤指定のくし目ごてで均一に塗布し、十分に圧着してください。
- 重量物の移動が想定される場合、地下水分グレードがI(一般工法レベル)の場合でも、耐湿工法用接着剤をご使用ください。
- 有機溶剤を含んだ接着剤を使用する場合は、火気に注意し、室内の換気に心がけ、有機溶剤作業主任者立ち会いのもとで行ってください。有機溶剤は、引火しやすく、また多量に吸入すると人体に影響を及ぼす可能性があります。
- 施工中は、他業種による汚損・事故の発生を防ぐために、床工事関係者以外の立ち入りを禁止してください。
- 施工後、接着剤が十分硬化するまでは、直射日光や冷暖房などによる急激な温度変化はお避けください。特に冬季は接着剤の硬化が遅いので、十分な養生期間をとってください。

- 施工直後に養生シートを使用した場合、床材と養生シートの間に結露水や水蒸気・溶剤蒸気などがこもり、床材の反り・突き上げなどが生じる可能性があります。養生シートは、接着剤が十分硬化してから使用してください。
- 養生シートをとめる際、粘着テープは直接床材に貼り付けしないでください。床材を汚染する原因となります。
- これらの施工条件が満たされない場合は、目地隙や突き上げ、膨れなどを招く可能性があります。美観を損ねるだけでなく、転倒事故などの原因となります。
- 施工後、残材などを廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託してください。包装紙・紙管などを焼却する場合は、都道府県条例に基づき処分してください。ビニル床材を燃やすと有害ガスが発生する場合があります。
- 防水層の上に敷設される押さえコンクリートは水分が抜けにくく、多量の水分を含んでいる場合があります。この状態で床材を施工すると、押さえコンクリートを床材で蓋をする状態となるため、逃げ場を失った押さえコンクリートに含まれる水分が床材を持ち上げて膨れが生じますので施工をおすすめできません。

維持管理ならびに使用上のご注意

- 床材は、熱によって変退色・溶融する可能性があります。たばこや、車輪の摩擦熱、火花の飛び散りなどはお避けください。
- 温風ヒーター吹き出し口にはマットを設置するなどして、温風が直接床材表面に当たるところをお避けください。
- 重量物や車輪のしごきによって、床材の表面を傷つけたり、膨れを発生させる可能性があります。引きずったり、にじらないようにご注意ください。
- 長期間使用しない部屋では換気を心がけてください。結露を招き、カビや異臭の発生、床材の剥がれ・反り・膨れ・突き上げの可能性があります。
- 素材固有の臭いがあります。換気を心がけてください。
- 床材の汚れのほとんどは水拭きでとれます。ほうきや掃除機でゴミを取り除いた後に、固く絞ったモップなどで水拭きしてください。
- しつこい汚れは、クリーナーで洗浄し、固く絞ったモップなどで水拭きしてください。
- 水濡れや砂が飛散した状態では滑りやすくなり、転倒事故を招く可能性があります。泥よけマットの設置などで雨水や土砂の持ち込みを防ぎ、持ち込まれた際には即座に除去するようにしてください。
- 家具やハイヒールなどの局部荷重により凹み跡が残る場合があります。
- インクやソース、化学薬品などをこぼしたときは、すぐに濡れたぞうきんで拭き取ってください。
- 化学薬品や強い作用をもつ洗剤、漂白剤などにより、変退色や変質を招く場合があります。
- 水・砂・紫外線・重量物・汚染物質・化学薬品・塩分・鉄粉などの影響で、床材自体の変質・変退色や白化、施工後の膨れ・剥がれ・目地隙などがおこる場合があります。維持管理には十分ご注意ください。
- ノンスキッド・エアコン排水目地(蓋付きタイプ)は排水目地を清掃しやすいよう蓋の着脱が可能です。使用環境により素材の特性上、蓋の伸縮が発生する可能性があります。
- ゴム素材に含まれる老化防止剤、家具の塗料や防腐剤・防虫剤・防蟻剤によって、床材が汚染され変退色する可能性があります。使用を避けるか、床材に直接ふれないようにしてください。



汚れの種類と洗剤

一般的に、油汚れ・生ごみの污水から出る臭いなどは酸性の汚れ、水垢・石鹸カスなどはアルカリ性の汚れであり、台所用洗剤(中性洗剤)で汚れ成分を中和することで、汚れを取り除くことが可能です。ただし、汚れは複合的な要素を含んでいることが多く、中性洗剤や指定クリーナーなどで取り除くことが困難な場合は、清掃業者へお問い合わせください。強い薬剤のご使用は床材だけではなく、人への悪影響を及ぼす可能性もありますのでお避けください。

sangetsu design site

FLAGSHIP サンゲツ品川ショールーム

〒108-0075 東京都港区港南2-16-4
品川グランドセントラルタワー 4F
TEL.0570-055-134 FAX.03-5463-6744

サンゲツ名古屋ショールーム

〒451-8575 名古屋市西区幅下1-4-1
TEL.0570-055-135 FAX.052-564-3229

サンゲツ大阪ショールーム

〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25
ハービスOSAKA 4F
TEL.0570-055-136 FAX.06-6347-9811

サンゲツ福岡ショールーム

〒812-0892 福岡市博多区東那珂1-11-11
TEL.0570-055-137 FAX.092-441-9503

sangetsu design studio

サンゲツ仙台ショールーム

〒984-0031 仙台市若林区六丁目字南98-1
TEL.022-287-3922 FAX.022-253-6806

サンゲツ金沢ショールーム

〒920-8205 石川県金沢市大友2-101
TEL.076-238-1411 FAX.076-238-1412

サンゲツ広島ショールーム

〒730-0017 広島市中区鉄砲町7-18
東芝フコク生命ビル 1F
TEL.082-223-8115 FAX.082-223-8117

北海道支社

TEL.011-251-3150 FAX.011-251-3151

東北支社

TEL.022-287-3765 FAX.022-287-2995

北関東支社

TEL.048-601-5500 FAX.048-711-2681

東京支社

TEL.03-3474-1181 FAX.03-3450-5038

中部支社

TEL.052-564-3111 FAX.052-564-3191

関西支社

TEL.06-6245-2301 FAX.06-6245-2302

中国四国支社

TEL.082-223-8110 FAX.082-223-8120

九州支社

TEL.092-441-5181 FAX.092-441-5191

【東北支社】 北東北営業所／福島営業所

【北関東支社】 群馬営業所／栃木営業所／新潟営業所／茨城営業所／長野営業所

【東京支社】 東関東営業所／多摩営業所／横浜支店／厚木営業所

【中部支社】 岐阜営業所／岡崎営業所／北陸支店／静岡営業所

【関西支社】 京都営業所／神戸営業所／東大阪営業所／南大阪営業所

【中国四国支社】 岡山営業所／四国支店

【九州支社】 北九州営業所／熊本営業所／南九州営業所

株式会社 サンゲツ沖縄

〒901-2225 沖縄県宜野湾市字大謝名215
レキオスクエア宇地泊 3F F号室
TEL.098-897-8722 FAX.098-897-8724

sangetsu design studio

サンゲツ沖縄ショールーム

〒901-2225 沖縄県宜野湾市字大謝名215
レキオスクエア宇地泊 2F
TEL.098-890-2025 FAX.098-890-3789

見本帳について

- 現品見本や見本帳写真と商品が若干異なる場合がありますのでご了承ください。
- 掲載商品の価格及び仕様は、当見本帳発行時(2022年11月)のものです。経済変動、品質の改善により、やむを得ず価格及び仕様を変更させていただく場合があります。ご注文の際は、販売店あるいは弊社営業窓口にご確認ください。
- 当見本帳に記載されている各種試験データは測定値であり、保証値ではありませんのでご了承ください。
- 当見本帳に掲載している商品及び写真等を許可なく複製、転載することを固くお断りいたします。
- 表示価格は標準材料価格であり、消費税は含まれておりません。

見本帳の廃棄に関するお願い

不要となった見本帳につきましては、しかるべき資格を有する産業廃棄物処理業者に直接廃棄を委託していただきますようお願い申し上げます。

発行日／2022年11月

発行所／株式会社サンゲツ

有効期限／2024年11月

※見本帳の有効期限は、都合により変更する場合がありますのでご了承ください。



0570で始まる電話番号は、市内通話料金にてご利用いただけます。

※バルコニーの使用に際しては各マンション規定のルールに則りご使用ください。

